

平成21年 2月1日(日)は、 大津町議会議員一般選挙の投票日です



平成21年2月1日(日)は、任期満了に伴う大津町議会議員一般選挙の投票日です。私たちの代表を選ぶ大切な選挙です。必ず投票しましょう。

大津町議会議員の定数が18人から16人に

大津町議会議員の定数が、これまでの18人から16人に削減されます。

これは、9月の町議会定例会最終日に議員提案の「大津町議会議員の定数条例を改正する条例」が可決されたことによるもので、平成21年に行われる「大津町議会議員一般選挙」から適用されます。定数の削減は、前回選挙の際の2人減につづき、通算して4人削減されます。

◎議員の定数は、地方自治法で各自治体の条例で定めることとされています。

◎人口約3万人の大津町議会議員の法定定数は26人以内です。

問い合わせ 議会事務局 ☎(293)3111

●立候補予定者説明会

日 時／平成21年1月7日(水)

午後1時30分から

場 所／町中央公民館 大会議室

●投票日／平成21年2月1日(日)

●問い合わせ

町選挙管理委員会 ☎(293)3111

雪などで被害を受けた日本庭園の修復作業を支援しようと、町国際交流協会や当時、庭の築造に携わった造園ボランティアの皆さんなどが中心となって募金活動を行い、この程、庭のある大津町の姉妹都市米国ネブラスカ州ヘイスティングズ市の同市国際交流協会に募金が寄付されました。

この庭は、両市町の友好姉妹都市締結を記念して、平成8年に同市のヘイスティングズ大学の中庭に造られたもので、設計は、翔陽高校の鎌浦誠一先生(当時)がボランティアで引き受け、その建設作業には鎌浦さんをリーダーとする大津の庭師の皆さんら4人が全員自費で渡米、現地ボランティアとの共同作業で完成させました。その後、この庭は友好のシンボルとして市民や学生に親しまれ、現地ボランティアの手で良好に管理されていましたが、ここ数年、ネブラスカの異常気象や、ヘイスティングズ地方がゴルフボール大の猛烈な雪に襲われたために庭園の樹木などが大きな被害を受けてしまいました。

寄付金は、今年7月、町の海外派遣

市を訪れたメンバーに託され、現地で行われた歓迎セレモニーで披露されました。

作業は樹木の植え替えに適した来春に本格的に行われる予定ですが、ネブラスカが新緑の季節を迎えた頃、友好の庭が美しく蘇ることでしょう。



ヘイスティングズ大学に造られた日本庭園(被害前の写真)

姉妹都市の日本庭園を守る 庭園の被害に町民らが修復費を寄付

H₂Oというグループを知っていますか？
1983年に発売された「想い出がいっぱい」という曲は、アニメの主題歌になり、音楽の教科書に掲載されるなど、今でもみんなに愛される曲となっています。そのH₂Oのメンバーである中沢堅司さんが、大津町に住んでいて、10月には大津北中学校のレクリエーションでコンサートを行ったそうです。そこで、直接お話を聞いてみよう、中沢さんにお話を聞きに行ってきました。

ここに住みづづけたいと
思ってたまち
それは大津町でした
中沢堅司さんインタビュー



H₂O

大津町にきた理由。出身である長野県との違い。

妻の実家が大津町なんです。義理の父が亡くなり、母が一人になったので、4年前に妻と一緒に大津町にきました。九州は昔から大好きなところだったので、熊本にもちよくよく来てたんです。地元長野県上田市は、盆地で寒暖の差があるんですね。熊本も同じ感じがして、気候的に合いますね。寒いところは苦手なんで、暖かい大津町は好きです。

大津町は、いろんなところを見に行っています。日吉神社と昭和園も行きましたし、あそこのつつじはきれいですよね！ウォーキングをするために運動公園にも行っていますよ。

人の温かさ…新曲「恋ごころ」を出した理由

大津町に来て、町の人の温かさを感じたんです。地元出身でない私を快く迎え入れてくれるこの大津町が大好きになりました。そして、この町で50歳を迎えて「ここに住みづづけたい」って思っただけです。その時に「恋ごころ」という曲をつくりました。この曲の歌詞の中にモクレンの



Kenji Nakazawa 中沢 堅司

PROFILE
1957年長野県生まれ。1976年大学在学中、H₂Oを結成。1983年シングル「想い出がいっぱい」10%の雨予報」を発売。40万枚を超えるヒットとなる。H₂O解散後、現在は大津町在住。

花がでてくるんですが、大津町に大きなハクモクレンの木があって、何年も見続けているうちに歌詞のなかに入ってきたんです。いつもは曲を先に作って、詞は後から作るんですが「恋ごころ」は詞が先にできただけです。しかも楽にできた。これは大津町で生活して、感じていたことを詞にしたからだと思っています。

大切なのは、今とこれから

これから先アーティストとしての活動ということはいつも考えていました。そして、50歳の節目を迎え、いい意味で大雑把になったと思います。自分の身丈に合った活動をしていきたいですね。

今後は、大津町を拠点に作品を作ってライブをやって…地元の人たちとふれあえるようなことをやっていきたいです。12月には「こ」(取材先である「倉庫カフェ ハロー通り」)でライブをやるかと思っています。

大津北中学校でのミニコンサートも大成功に終わった中沢さん(詳細は14ページ)。12月6日には「人権を考えるみんなのつどい」でミニコンサートを行うそうです。今後は、活動を大津町で見ることも多くなるかもしれませんね。

取材協力「倉庫カフェ ハロー通り」(引水)

